



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月9日

上場会社名 株式会社ヒガシマル 上場取引所 福  
 コード番号 2058 URL <http://www.k-higashimaru.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 東 紘一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 木通 昌生 (TEL) 099-273-3859  
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	2,380	45.9	65	—	83	151.3	43	38.2
25年3月期第1四半期	1,632	△11.9	△2	—	33	—	31	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 70百万円( —%) 25年3月期第1四半期 △8百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	9.25	—
25年3月期第1四半期	6.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	11,278	4,961	44.0
25年3月期	10,606	4,929	46.5

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 4,961百万円 25年3月期 4,929百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,082	31.8	290	139.1	281	108.6	213	71.2	45.37
通期	9,857	20.0	508	87.6	490	82.4	345	30.2	73.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 1社 (社名) HIGASHIMARU VIETNAM CO., LTD

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

26年3月期1Q	4,746,000株	25年3月期	4,746,000株
26年3月期1Q	40,889株	25年3月期	40,889株
26年3月期1Q	4,705,111株	25年3月期1Q	4,705,158株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、四半期決算短信 [添付資料] 3 ページ、「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策・金融政策等の効果や期待感を背景に、円安により輸出は回復基調で推移し、株価の上昇が資産効果を通じて個人消費を押し上げるなど、一部に景気回復の兆しが見られました。しかし、海外経済の停滞や新興国の緩慢な動きによる景気下振れリスクもあり、雇用・所得環境は依然として厳しいことに加え、今年5月下旬以降は一部不安定な金融市場となっており、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループを取り巻く事業環境は、主原料（魚粉・小麦粉）価格の高騰や、燃料、石油関連資材、電気料金及び販売輸送費の値上がりの影響を受けております。また、消費者の節約・低価格志向が根強いことなどから、企業間の競争も引き続き厳しい経営環境で推移いたしました。

こうした環境の下、当社グループは市場動向を見極めながら積極的な販売活動を展開するとともに、効率性及びコスト削減に努め、売上成長を模索しながら利益重視の経営に取り組んでまいりました。また、前第2四半期連結会計期間末からコスモ食品株式会社が加わり、売上及び利益に貢献しております。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は23億80百万円と前年同四半期と比べ7億48百万円（45.9%）の増収、営業利益は65百万円（前年同四半期は営業損失2百万円）、経常利益は83百万円と前年同四半期と比べ50百万円（151.3%）の増益、四半期純利益は43百万円と前年同四半期と比べ12百万円（38.2%）の増収となりました。

なお、養魚用配合飼料の需要は、養殖魚の成長過程に応じ、摂餌が旺盛になる夏から初冬までが多く、水温が低下し餌食いが鈍くなる冬から春は少なくなるという季節的変動があります。したがって、当第1四半期連結会計期間の売上高は、第2四半期連結会計期間及び第3四半期連結会計期間と比べ低くなる傾向にあります。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ①水産事業

水産事業におきましては、南米におけるカタクチイワシの水揚げが低水準で推移したことにより、養魚用配合飼料の主原料（魚粉）価格が高騰しております。この原料価格の高騰を受け、配合飼料販売価格の値上げ交渉を進めてまいりました。

このような状況のなか、クルマエビ飼料類は生産物相場が良好であり、値上げ交渉も順調に進んだことから売上が増加しました。また、魚類用配合飼料は、値上げ前の駆け込み需要などがあつたことからマダイ・ハマチ飼料類等の売上が増加した結果、売上高は16億19百万円と前年同四半期と比べ4億4百万円（33.3%）の増収となりました。セグメント利益は54百万円と前年同四半期と比べ11百万円（17.6%）の減益となりました。

#### ②食品事業

食品事業におきましては、小麦粉の値上げが6月に実施されたことに加え、依然として消費者の節約・低価格志向が根強く、企業間の競争が引き続き厳しい経営環境で推移いたしました。

このような状況のなか、平成24年7月に子会社化し、前第2四半期連結会計期間末から連結範囲に含めたコスモ食品株式会社におけるカレー類及びジャム等の販売が好調に推移いたしました。また、テレビコマーシャルを放映するなど販売強化に努めてまいりましたが、即席ラーメンは価格競争や他社大手メーカーの新商品の販売攻勢を受けるなどしたことから低調に推移しました。乾麺類（そうめん・うどん・そば）は、取扱店舗の拡大およびプライベートブランドの売上が好調に推移したほか、主力の皿うどん類についても業務用商品及び市販用商品のリニューアルで売上が増加した結果、売上高は7億61百万円と前年同四半期と比べ3億43百万円（82.4%）の増収となりました。セグメント利益は77百万円と前年同四半期と比べ64百万円（528.5%）の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ6億72百万円増加し、112億78百万円となりました。これは、主として流動資産の現金及び預金が1億78百万円、受取手形及び売掛金が4億79百万円増加したことなどによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べ6億39百万円増加し、63億16百万円となりました。これは主として買掛金が3億51百万円、長期借入金が2億86百万円増加したことなどによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ32百万円増加し、49億61百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が4百万円減少したものの、利益剰余金が5百万円、繰延ヘッジ損益が30百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、当社グループの売上高は、第1四半期連結会計期間より第2四半期連結会計期間及び第3四半期連結会計期間の割合が高くなる季節的変動があります。また、平成25年7月31日に取得（株式100%取得）した株式会社向井珍味堂の業績予想については現在精査中であることから、当初の業績予想を修正しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

前連結会計年度において連結子会社でありましたHIGASHIMARU VIETNAM CO., LTDは、平成25年3月に清算したため、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

1 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,580,048	1,758,941
受取手形及び売掛金	1,582,051	2,061,739
有価証券	75,269	78,923
商品及び製品	437,087	439,600
仕掛品	112,515	109,571
原材料及び貯蔵品	963,819	1,008,233
その他	522,909	444,675
貸倒引当金	△16,276	△1,726
流動資産合計	5,257,424	5,899,957
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,232,938	1,231,707
機械装置及び運搬具（純額）	639,903	735,137
土地	1,968,436	1,968,436
その他（純額）	96,079	38,005
有形固定資産合計	3,937,356	3,973,286
無形固定資産		
のれん	457,467	445,429
その他	34,355	33,679
無形固定資産合計	491,823	479,108
投資その他の資産		
投資その他の資産	962,642	990,751
貸倒引当金	△42,563	△64,205
投資その他の資産合計	920,078	926,546
固定資産合計	5,349,258	5,378,941
資産合計	10,606,682	11,278,899

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	534,018	885,669
短期借入金	2,343,050	2,277,540
未払法人税等	9,436	24,623
賞与引当金	113,378	75,071
その他	302,006	377,366
流動負債合計	3,301,890	3,640,270
固定負債		
長期借入金	1,755,500	2,042,000
退職給付引当金	43,195	43,829
役員退職慰労引当金	383,494	386,149
その他	193,313	204,700
固定負債合計	2,375,503	2,676,678
負債合計	5,677,394	6,316,949
純資産の部		
株主資本		
資本金	603,900	603,900
資本剰余金	458,400	458,400
利益剰余金	3,807,701	3,813,588
自己株式	△28,968	△28,968
株主資本合計	4,841,032	4,846,919
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	41,937	37,894
繰延ヘッジ損益	46,318	77,135
その他の包括利益累計額合計	88,255	115,029
純資産合計	4,929,288	4,961,949
負債純資産合計	10,606,682	11,278,899



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	1,632,318	2,380,962
売上原価	1,357,843	1,899,742
売上総利益	274,474	481,219
販売費及び一般管理費		
運賃諸掛	75,283	99,823
貸倒引当金繰入額	—	21,641
給料及び賞与	60,453	100,596
賞与引当金繰入額	14,913	12,748
役員退職慰労引当金繰入額	1,863	2,655
その他	124,931	178,692
販売費及び一般管理費合計	277,445	416,157
営業利益又は営業損失(△)	△2,971	65,062
営業外収益		
受取利息	64	48
受取配当金	1,325	2,051
為替差益	37,269	13,998
雑収入	11,550	9,577
営業外収益合計	50,209	25,676
営業外費用		
支払利息	6,683	7,547
雑損失	7,476	76
営業外費用合計	14,159	7,623
経常利益	33,078	83,115
税金等調整前四半期純利益	33,078	83,115
法人税、住民税及び事業税	1,038	21,821
法人税等調整額	537	17,765
法人税等合計	1,575	39,587
少数株主損益調整前四半期純利益	31,502	43,527
四半期純利益	31,502	43,527

四半期連結包括利益計算書  
第 1 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 6 月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	31,502	43,527
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,608	△4,042
繰延ヘッジ損益	△9,254	30,816
為替換算調整勘定	△21,289	—
その他の包括利益合計	△40,152	26,774
四半期包括利益	△8,650	70,301
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△8,650	70,301
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	水産事業	食品事業			
売上高					
外部顧客への売上高	1,214,827	417,490	1,632,318	—	1,632,318
セグメント利益	65,829	12,287	78,117	△45,038	33,078

(注)1 セグメント利益の調整額△45,038千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用等であり、提出会社の管理部門に係る販売費及び一般管理費45,444千円、営業外収益7,539千円、営業外費用7,133千円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	水産事業	食品事業			
売上高					
外部顧客への売上高	1,619,615	761,347	2,380,962	—	2,380,962
セグメント利益	54,227	77,228	131,456	△48,341	83,115

(注)1 セグメント利益の調整額△48,341千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用等であり、提出会社の管理部門に係る販売費及び一般管理費55,845千円、営業外収益11,864千円、営業外費用4,359千円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (重要な後発事象)

## 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得

当社は、平成25年7月31日開催の取締役会決議及び同日付けで締結した株式譲渡契約に基づき、平成25年7月31日付けで株式会社向井珍味堂の株式を取得し、同社を連結子会社といたしました。

## 取得による企業結合

## (1) 企業結合の概要

## ①被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称	株式会社向井珍味堂
事業の内容	殻粉・香辛料等、香り豊かな粉末商品の製造販売

## ②企業結合を行った主な理由

当社グループの食品事業にこれまでにない独自開発による製造技術、風味を損なわない新しい殺菌・殺虫技術のノウハウと、高付加価値商品の開発、マーケティング手法など補完し合う相乗効果が見込まれると判断したことによるものであります。

## ③企業結合日

平成25年7月31日

なお、第2四半期連結会計期間末(平成25年9月30日)を支配獲得日とみなし、処理いたします。

## ④企業結合の法的形式

現金を対価とする全株式の取得

## ⑤結合後企業の名称

名称の変更はありません

## ⑥取得した議決権比率

100%

## ⑦取得企業を決定するに至った主な根拠

現金を対価とした株式取得により、当社が同社の議決権の100%を取得し支配を獲得するに至ったことによるものであります。

## (2) 被取得企業の取得原価及びその内訳

取得の対価	株式会社向井珍味堂の普通株式	500,000千円
取得に直接要した費用	アドバイザー費用等	60,732
取得原価		560,732

## (3) 資金調達の方法等

所要資金につきましては、自己資金及び借入金により賄っております。借入金の内容は以下のとおりであります。

借入先	借入金額(千円)	借入日	返済方法	返済期日	担保
みずほ銀行	435,000	平成25年7月30日	期日一括	平成25年8月30日	無